

# News Release

平成 21 年 11 月 16 日  
文化学院

## 1921 年創立の文化学院創設者の一人、与謝野鉄幹／晶子夫妻の孫 与謝野馨氏が院長・理事に就任！

～顧問的立場で大所高所から学校運営をアドバイス～

88 年の歴史と伝統を誇る文化学院（東京都千代田区神田駿河台 戸田一雄理事長・校長）では、このたび、与謝野馨氏が院長・理事に就任することとなりました。与謝野氏は以前、理事として学校運営に関わっていましたが政府の要職に就いてからは退任しており、久々の復帰となります。就任後は、顧問的立場で大所高所から学校運営に対してアドバイスを行うこととなります。

与謝野氏は昨年行った講演の中で、「自己表現に優れた人間をつくるには、自分で美しいものを見つけ、それを表現するにはどうするかを自分で考え、努力する。やはり、そういうことをきちんとできるようにする教育が大事」と語っています。かつて、文部大臣を務め政界きっての政策通といわれる氏の教育論はまさに、文化学院の建学の精神そのものです。

戸田一雄理事長・校長は、「当院創設者の一人である与謝野鉄幹/晶子のお孫さんにあたる与謝野氏の就任は、対外的に“安定感”という強いメッセージ性をもつ」とし、「学校運営に盤石の体制が整った」と話しています。

文化学院は、教育における男女平等を訴え個人の自由と個性を尊重する新しい教育を追求した学校として、建築家・西村伊作、文芸家・与謝野鉄幹／晶子夫妻、美術家・石井柏亭によって、1921 年に創立されました。「幅広い教養に基づく職業教育」を建学の精神に、基礎教育を施すとともに個性的な自由制作を目指す授業を今日も実践しています。

具体的には、高校学齢としては日本で初めての、シネマリテラシー教育（映画作りワークショップを必修とする）を導入しております。映画づくりという共同作業を通して人間教育を行うという総合教育で、映画監督の花田深氏が直接、生徒指導を行っています。加えて、著名な講師陣を配しました。作家・井上ひさし氏、映画監督・山田洋次氏、現代詩作家・荒川洋治氏、作家・辻原登氏、デザイン評論家・柏木博氏、音楽プロデューサー・与田春生氏、SMAP や安室奈美恵の振付をする黒須洋壬氏など、そうそうたる面々が文化学院が宣言した新たなミッション『すべては学生の未来のために』をモットーに日々の指導にあたっています。

## <与謝野馨氏プロフィール>



1938年 8月 22日 生まれ

1951年 港区立麻布小学校卒業 麻布中学入学

1957年 麻布高校卒業

1963年 東京大学法学部卒業 サラリーマンとなる

1968年 5年間務めた会社を退職し、中曽根事務所に入所

<政界歴>

2009 財務・金融・経済財政政策担当大臣

2008 経済財政政策担当大臣

2008 経済財政政策・規制改革担当大臣

2007 内閣官房長官(拉致問題担当大臣兼任)

2006 自民党税制調査会会長

2005 経済財政政策・金融担当大臣

2004 自民党政務調査会会長

1998 通商産業大臣

1996 内閣官房副長官

1995 自民党政務調査会会長代理

1994 文部大臣

1992 衆議院議院運営委員会委員長

1985 通商産業政務次官

1976 第34回総選挙に東京都1区(千代田区・港区・新宿区)から立候補し、  
第2位で初当選

## <文化学院での教育の特徴>

1. 学生一人ひとりの個性に細かく目を配り、長所を伸ばすための少人数教育
2. 各界の第一人者によるプロフェッショナルを育成するための授業
3. 人間形成を目的にしたシネマリテラシー授業(生徒のみによる映画制作授業)
4. 文化学院の伝統であり日本で有数の文藝を教える学校
5. 放送や映画、音楽、声優などの新しい文化に合わせたカリキュラム

文化学院オフィシャルサイト：<http://bunka.gakuin.ac.jp/>

## <文化学院の組織・役職上の責務範囲>

1. 理事長：『学校法人文化学院』代表者であり責任者
2. 院長：『学校法人文化学院』の顧問
3. 校長：『文化学院』の代表であり責任者

■本件に関するお問い合わせ先■

学校法人 文化学院

広報室 沖宗 TEL 03-3294-7551

または

(株) コミュニケーションハウス

深川・野中 TEL 03-5411-4841